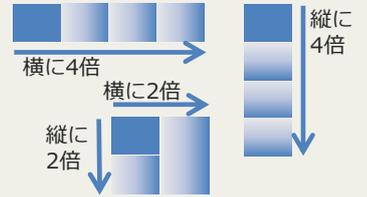


画面サイズ拡大*・スクロール機能で表示位置を座標指定できるようになりました。確認したい場所をすばやく表示できます。

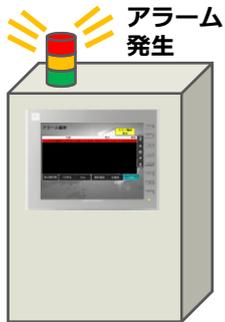
*画面サイズ拡大とは？

スクリーン、オーバーラップで画面サイズより大きいサイズを登録できます。(Max.4倍)



Before

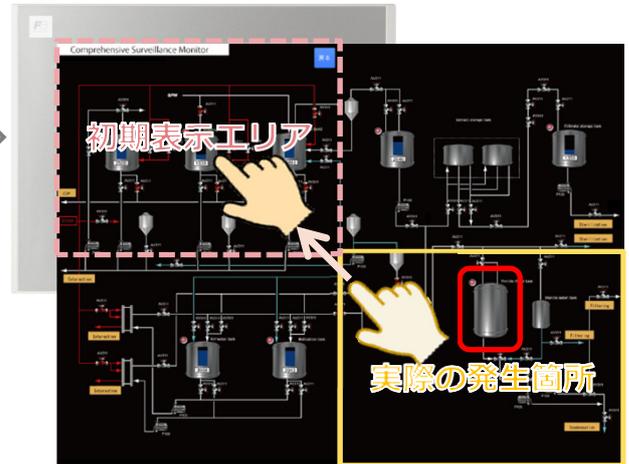
アラーム発生時、発生箇所の確認のため、システム構成図の画面に移動しても、スクロール操作で表示を切り替える必要があった…



① 状況確認のために、システム構成図の画面に移動



② 画面左上を起点に表示され、スクロールして発生箇所を確認



構成図画面を1枚で管理できても、すぐに該当箇所を表示できない…スクロール操作も必要…



例) 横2倍、縦2倍の画面



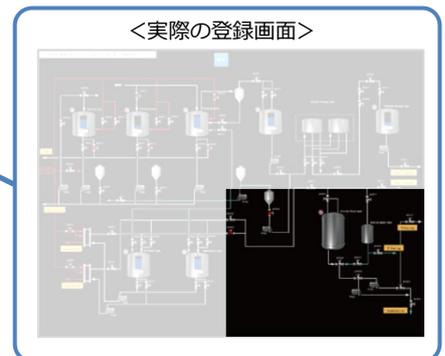
After

表示位置 (始点のX座標、Y座標) をデバイスで指定して、発生箇所を簡単に表示！

① アラームを選択し、システム構成図の画面に移動



② 選択したアラームに応じて、アラームの発生箇所を表示



該当箇所へひとつ跳びで便利！スクロール不要で操作時間短縮！

設定例（前ページの例で説明します）

動作説明

選択したアラームに応じて、システム構成図画面の初期表示位置を指定します。
本例ではV9100iC（解像度：640×480）で、システム構成図の画面サイズを横2倍、縦2倍（解像度：1280×960）に拡大登録したときの例になります。

【設定イメージ】

アラーム履歴（スクリーン5）



画面切替用スイッチ

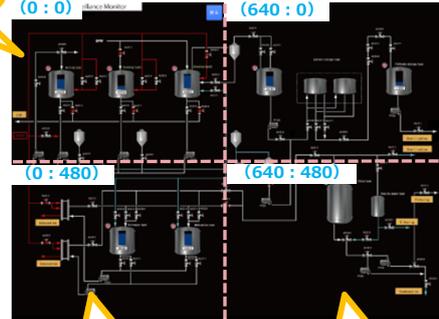
アラームNo. 0~3で表示

システム構成図（スクリーン51）

アラームNo. 4、6で表示

アラームNo. 5で表示

アラーム用メッセージ	アラームNo.
安全レバーが解放されました。	0
侵入者を感じました。	1
貯水タンクの水温が60℃に到達しました。	2
S1ラインが停止しました。	3
受取バーコード 品番1。	4
タンクA2の温度が 50℃まで上昇しています。	5
ID:2578の佐藤が入室しました。	6



設定方法

以下の①～③の3箇所を設定します。

【設定内容】

- ① システム構成図画面で「画面設定」→「スクリーン設定」→「スクロール」で画面サイズと座標デバイスを設定



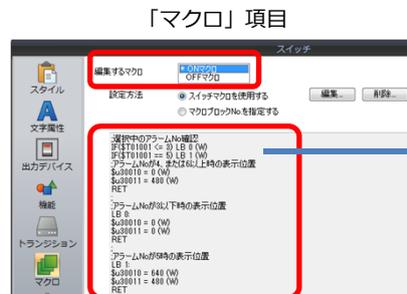
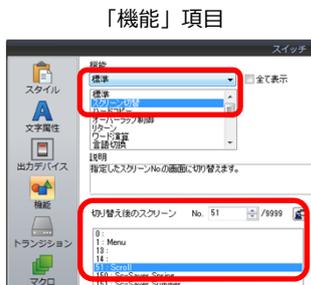
座標デバイスの割付
座標デバイス 内部 \$u30010
・X座標用デバイス： \$u30010
・Y座標用デバイス： \$u30011

- ② アラーム履歴画面でアラームアイテムをダブルクリックし、「細かい設定」項目で“選択中のアラームNo.を出力する”にチェックを入れて、デバイスを設定



選択中のアラームNo.用デバイス
内部 \$T1001

- ③ 画面切替用スイッチに、機能（スクリーン切替）と表示座標指定用のマクロ（ONマクロ）を設定



マクロ例

```

0: 選択中のアラームNo確認
1 IF($T01001 <= 3) LB 0 (W)
2 IF($T01001 == 5) LB 1 (W)
3 : アラームNoが4、または3以上時の表示位置
4 $LB0010 = 0 (W)
5 $LB0011 = 480 (W)
6 RET
7
8 : アラームNoが3以下時の表示位置
9 LB 0:
10 $LB0010 = 0 (W)
11 $LB0011 = 0 (W)
12 RET
13
14 : アラームNoが5時の表示位置
15 LB 1:
16 $LB0010 = 640 (W)
17 $LB0011 = 480 (W)
18 RET
    
```

パワーアップした拡大表示機能で操作時間を短縮し、工数を削減しませんか？



【連絡先】

発紘電機株式会社
モニタタッチコールセンター

TEL : 0120-929-299
※ 携帯電話からは076-274-5130
FAX : 076-274-5208
URL : <http://www.hakko-elec.co.jp>